

骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会 in 仙台 ～ともに造血細胞移植を必要とする人のために～ 開催について

公益財団法人骨髄移植推進財団
理事長 齋藤 英彦

日本さい帯血バンクネットワーク
会長 加藤 俊一

骨髄移植推進財団（日本骨髄バンク）と日本さい帯血バンクネットワーク（さい帯血バンク）は、9月15日（土）「骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会in仙台」を仙台市太白区文化センター楽楽楽ホール（宮城県仙台市）で開催します。

骨髄移植は1970年代に確立され、日本では1980年から血縁のドナーから実施されるようになりました。骨髄移植を行うためにはHLA型（白血球の型）の一致が不可欠ですが、HLA型が一番合いやすい兄弟姉妹では4分の1、他人では数百～数万分の一でしか一致しません。そのため、提供者を見出せない患者さんやご家族から、善意の骨髄提供者からの移植を仲介する骨髄バンク設立の要望が高まり、1991年12月、公的骨髄バンクである骨髄移植推進財団（東京都千代田区、現理事長：齋藤英彦）が設立されました。

一方、さい帯血にも骨髄同様の造血機能がある細胞が多く含まれていることが分かり、1994年に国内初のさい帯血移植が行われ、1995年には神奈川さい帯血バンクが設立されました。2001年、当時国内にあった9つのバンクは「日本さい帯血バンクネットワーク」（東京都港区、現会長：加藤俊一）として運営されることになり、現在は8つのバンクが事業に参画しています。骨髄移植もさい帯血移植も造血細胞の移植であり、両バンクは白血病などの血液疾患の患者救命というミッションのため、それぞれ事業を行っています。

不治の病と言われていた白血病などに対する有効な治療として、今では日常的に造血細胞移植が行われ、多くの患者さんが救われるようになりました。今回初めて両バンクの合同全国大会開催となりますが、昨年の東日本大震災の際に、協同して患者救命に当たった事例などを含め、両バンクの明日の姿を考えます。

開催概要

名 称 骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会in 仙台
～ともに造血細胞移植を必要とする人のために～

開催日時 平成24(2012)年9月15日(土曜日) 13:30～17:00

開催場所 仙台市太白区文化センター(楽楽楽ホール)
(仙台市太白区長町5-3-2)

内 容 ・式典 ・骨髄バンクとさい帯血バンクの最新事業報告
・震災時の移植患者さんとドナーさん、そして両バンクは
・シンポジウム「明日の骨髄バンクとさい帯血バンク～ともに造血細胞移植が必要な人のために」
・コンサート(NHK仙台少年少女合唱隊)

主 催 公益財団法人骨髄移植推進財団 日本さい帯血バンクネットワーク

後 援 厚生労働省、宮城県、仙台市、日本赤十字社、日本造血細胞移植学会、関西骨髄バンク推進協会、血液情報広場つばさ、さい帯血国際患者支援の会、全国骨髄バンク推進連絡協議会

協 力 宮城骨髄バンク登録推進協議会、骨髄バンクを支援するやまがたの会、福島県骨髄バンク推進協議会、さい帯血バンクサポート宮城

入場無料

■本件に関するお問い合わせ

公益財団法人 骨髄移植推進財団
日本さい帯血バンクネットワーク事務局

合同全国大会担当：(電話)代表:03-5280-8111

合同全国大会担当：(電話)代表:03-5777-2429

骨髄バンクとさい帯血バンクのあゆみ

1970年代		アメリカのE. Dトーマス博士が近代的骨髄移植術を確立
1974年		イギリスで世界初の骨髄バンク「アンソニー・ノーラン・リサーチセンター」設立
1975年		日本で近代的骨髄移植を開始(金沢・名古屋両大学医学部)
1982年		中畑龍俊氏がさい帯血中に造血幹細胞を発見
	8月	日本で最初の非血縁者間骨髄移植(名古屋大学)
1987年		東京・京都で患者家族が骨髄バンク設立運動を開始
1988年		フランスで世界初のさい帯血移植を実施
1989年	10月	名古屋で民間の<東海骨髄バンク>設立
1990年	1月	厚生省「骨髄移植の評価に関する研究班」を設置、4月に公的骨髄バンクの設立が必要と報告
1991年	4月	民間の<九州骨髄バンク>(21日)・<北海道骨髄バンク>(26日)発足
	12月	国の関与する日本骨髄バンクとして骨髄移植推進財団設立(18日)
1992年	1月	日本赤十字社「骨髄データセンター」設置 ドナー登録の受付開始
	6月	患者登録の受付開始
	9月	コーディネート開始
1993年	1月	日本骨髄バンクによる初の骨髄移植を実施
1994年		東海大学で日本で最初のさい帯血移植(血縁者間)
1995年		わが国で最初のさい帯血バンクである神奈川臍帯血バンク設立
1997年	1月	日本骨髄バンクによる骨髄移植1000例(29日)
	9月	国際協力による骨髄移植第1例の実施(アメリカから)
		さい帯血バンクを介した最初の非血縁者間さい帯血移植(横浜市立大学)
1998年	8月	骨髄バンクドナー登録者数10万人到達(13日)
	10月	国際協力により、韓国に骨髄提供第1例
1999年		日本さい帯血バンクネットワーク発足で公的さい帯血バンク事業開始
2003年	6月	非血縁者間さい帯血移植が1,000例を突破
2004年	10月	日本さい帯血バンクネットワーク「設立5周年大会」を開催
	11月	骨髄バンクドナー登録者数20万人到達(25日)
2005年	3月	骨髄バンクのドナー登録要件緩和(下限18歳以上、登録時の家族の同意不要など)
	9月	骨髄バンクのドナー登録要件の上限年齢が「登録54歳まで・提供55歳まで」に引き上げ
2008年	1月	骨髄バンクドナー登録者数30万人到達(15日)
	12月	日本骨髄バンクによる骨髄移植10,000例(3日)/さい帯血バンク5,000例到達
2009年	8月	日本さい帯血バンクネットワーク「設立10周年大会」を開催
	10月	日本骨髄バンクが末梢血幹細胞移植(PBSCT)を導入(1日)
2011年	3月	日本骨髄バンクにおける1例目の末梢血幹細胞移植実施
	9月	非血縁者間さい帯血移植が8,000例を突破
	12月	日本骨髄バンク設立20周年記念全国大会開催(17日)
2012年	4月	公益財団法人 骨髄移植推進財団に移行登記(1日)

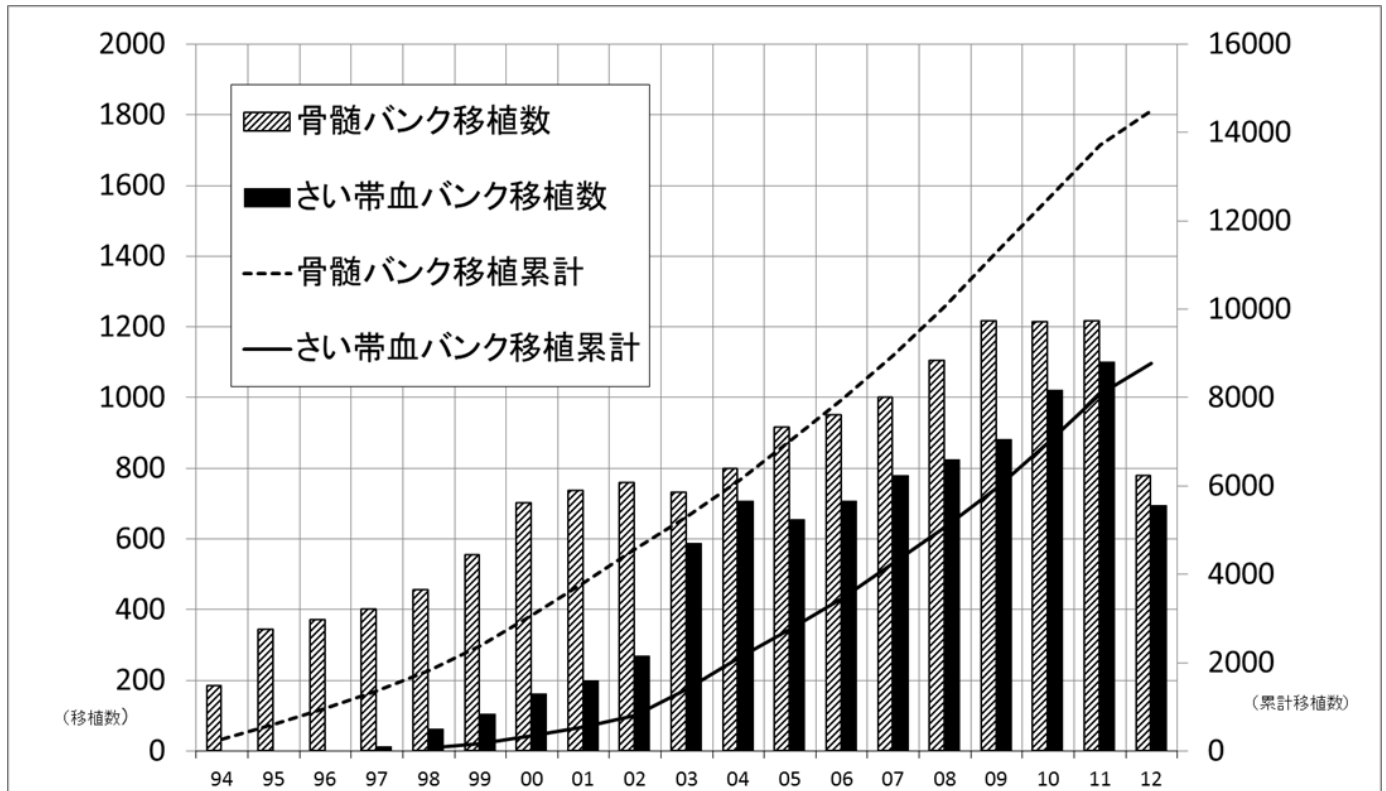
■本件に関するお問い合わせ

公益財団法人 骨髄移植推進財団
日本さい帯血バンクネットワーク事務局

合同全国大会担当: (電話)代表:03-5280-8111
合同全国大会担当: (電話)代表:03-5777-2429

日本の非血縁者間造血幹細胞移植の現状

■ 骨髄バンクとさい帯血バンクを介した移植数の推移



参考 骨髄バンクの現状

- ドナー登録者現在数 414,615人
- 患者登録現在数 2,947人
- 累計非血縁者間移植数 14,490例
(末梢血幹細胞移植を含む)

さい帯血バンクの現状

- さい帯血保存公開数 29,150個
- 累計さい帯血移植数 8,768例
(複数使用のさい帯血移植は1例としてカウント)

平成24(2012)年7月末現在

■ 本件に関するお問い合わせ
 公益財団法人 骨髄移植推進財団
 日本さい帯血バンクネットワーク事務局

合同全国大会担当:(電話) 代表:03-5280-8111
 合同全国大会担当:(電話) 代表:03-5777-2429